

【警告】

■万が一、破損など異常のあるレンズを装着してしまった場合や装着中にレンズが破損した場合は、直ちにレンズをはずし、痛みなどの自覚症状がなくても必ず眼科医の診察を受けてください。

■コンタクトレンズを適切に使用しても以下のような眼の障害の危険性がありますので、定期的に眼科医の検査を受けてください。(レンズの種類、使用期間、眼の状態などにより個人差があります。)

・長期間の使用により、角膜内皮細胞の減少が早まったり、巨大乳頭結膜炎などが発症する可能性
・角膜への酸素供給が低下することにより、角膜浮腫や角膜血管新生などが発症する可能性

■コンタクトレンズやケア用品ご使用の前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容で分からないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。

■添付文書は大切に保管してください。
コンタクトレンズは眼に直接のせて使用するものです。
コンタクトレンズやケア用品の取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる場合があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。

コンタクトレンズを安全に装着するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

1) **レンズの使用期間を守ること**
定期交換レンズは、長期使用のレンズとは異なり、使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えることなく、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。(このレンズは、最長2週間で交換する定期交換レンズです。)

2) **装着時間を正しく守ること**
レンズの装着時間には個人差があります。眼科医から指示された時間内で使用し、眠るときは必ずはずしてください。

3) **取扱方法を守り、正しく使用すること**
レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。定期交換レンズはレンズとともにケア用品(特にレンズ保存ケース)を常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

4) **定期検査は必ず受けること**
自覚症状がなく調子よく装着していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

5) **少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること**
眼に異常を感じたまま装着を続けると、重篤な眼の障害につながる危険性があります。

レンズをつける前に、またレンズをつけた後も、毎日、ご自分で目ヤニや充血がないか、また異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら装着を中止し、すぐに眼科医の検査を受けてください。

6) **破損などの不具合があるレンズは絶対に使用しないこと**
装着前に、レンズに破損などの不具合がないか必ず確認し、不具合が認められたレンズは絶対に装着しないでください。

7) **連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ること**
あなたに処方されたコンタクトレンズは連続装用レンズです。眼科医の指示に従い、連続装用の承諾書と管理手帳に記載された内容を守ってください。

8) **装着期間を正しく守ること**
レンズの装着期間(連続装用日数)には個人差があります。眼科医から指示された装着期間(連続装用日数)を必ず守ってください。

【連続装用を許可された場合】
医師の指示がない限り連続装用はしないでください。
上記1)～6)の注意の他に、下記事項をお守りください。

1) **連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ること**
あなたに処方されたコンタクトレンズは連続装用レンズです。眼科医の指示に従い、連続装用の承諾書と管理手帳に記載された内容を守ってください。

2) **装着期間を正しく守ること**
レンズの装着期間(連続装用日数)には個人差があります。眼科医から指示された装着期間(連続装用日数)を必ず守ってください。

【禁忌—レンズ装用に適していない例】

コンタクトレンズを使用できない、あるいは使用しない方がよい病気が環境があります。装着を開始する前に必ず医師の診察を受け、これらの病気の有無や環境について確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装用に適していません。

* <医学的禁忌例>

・前眼部の急性および亜急性炎症 ・眼感染症 ・ぶどう膜炎
・角膜知覚低下 * ・レンズ装用に問題となる程度のドライアイおよび涙器疾患 ・眼瞼異常 ・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患 ・その他医師が装着不適と判断した疾患

<社会的禁忌例>

・医師の指示に従うことができない場合 ・レンズを適切に使用できない場合 ・定期検査を受けられない場合 ・レンズ装用に必要な衛生管理を行えない場合 ・極度に神経質な場合

<生活環境的禁忌例>

・常時、乾燥した生活環境にいる場合 ・粉塵、薬品などが眼に入りやすい生活環境にいる場合

* 【組成・構造及び原理等】

ソフトコンタクトレンズ分類：グループ I
構成モノマー：2-ヒドロキシエチルメタクリレート、メタクリル酸着色剤：アントラキノン系着色剤
* 保存液：塩化ナトリウム、緩衝液
原 理：コンタクトレンズに付加された頂点屈折力により視力を補正する。

* 【使用目的、効能又は効果】

視力補正用レンズ(2週間定期交換)
終日装用又は連続装用(最長装用期間：7日間)

【操作方法又は使用方法等】

・連続装用は眼科医の指示でお始めください。
・涙の量、アレルギー体質などが原因で連続装用できない方もありますので眼科医の指示をお守りください。

* 眼科医から連続装用を許可された場合は、連続装用の注意も併せてお読みください。

<使用サイクル>

・終日装用の場合一緒に起きている時に使用し、眠る前には必ずはずし、レンズケアを行ってください。

* 連続装用の場合—眼科医の指示により最長1週間まで連続装用を行い、はずした日はレンズ装用をしないで就寝してください。
・開封後、最長2週間で新しいレンズに取り替えてください。

<レンズケア>

・レンズケアとはレンズの洗浄・すすぎ・保存・消毒などコンタクトレンズを安全・快適に装着する上で欠かすことのできないお手入れを言います。コンタクトレンズを装着すると、涙液中のタンパク質・脂質などがレンズに付着したり、取扱い時に手指を介してレンズに汚れが付着したりします。レンズケアをおこなうと、レンズに汚れが蓄積したりカビや細菌が繁殖し、レンズ素材の劣化を早めたり、変形・変色の原因になります。そのようなレンズを装着すると眼に障害を起こすことがあります。装着し、はずした後は、必ずレンズケアを行ってください。

・このレンズは、煮沸消毒システムまたは化学消毒システムのいずれかによるレンズケアが可能です。

・レンズに汚れが付着しやすい方は、通常のケアに加え、洗浄液によるこすり洗いが必要な場合があります。

・ケア用品の選択、ケア方法については、眼科医の指示に従ってください。

・ご使用前には、各ケア用品の説明書(表示されている事項や添付文書)を必ずお読みください。

・連続装用の場合はレンズをはずした日にレンズケアを行ってください。

<レンズをつける前に>

・装着前に爪が短く切つてあるか確認し、手指をセッケンできれいに洗ってください。
・レンズを持つときは外面の周辺部を指の腹でそっとはさむように持ち、爪を立てないでください。

<プリスターパック(レンズ専用容器)の開封方法>

1) パッケージ(外箱)を開け、プリスターパックを取り出します。

* 2) プリスターパックを開封します。

・開封時にプリスターパックのアルミシールで手指を切るおそれがありますのでご注意ください。

・プリスターパックは、ラベル表示を上にして、しっかりと持ち、アルミシールの端を

ていねいにしっかりとつまみ、ゆっくりはがしてください。

・アルミシールをはがすとき、保存液が飛び出すことがありますのでご注意ください。

3) レンズを取り出します。

・開封時に、レンズがアルミシール内側表面やプリスター(容器)に付着している場合があります。その場合は、注意深くレンズをはがした後、下記の手順でレンズチェックをしてください。

・レンズに爪を立てたり強く折り曲げるような力を加えるとレンズが破損するおそれがあります。
レンズをキズつけないよう、指の腹でそっと取出します。

<レンズチェック>

- 1) 装着前にレンズに変形・変色、異物の付着、破損・キズ、汚れ等の異常がないか確認してください。
 - ・これらの異常のあるレンズを装着すると装着中に痛みや刺激を感じたり、眼をキズつける場合があります。
- 2) 装着前にレンズの左右を確認してください。
- 3) 装着前にレンズの表裏を確認してください。
 - ・レンズには、左右、表裏があります。入れ違えると、異物感、見えにくいなどの症状の原因になります。

<レンズのつけ方>

- 1) レンズをきき手の人差し指の先におせ、レンズにキズや汚れ等の異常がないか表裏が正しいか確認します。
- 2) 同じ手の中指で下まぶたを引き下げ、もう一方の手の中指で上まぶたを引き上げます。
- 3) 両眼で鏡を見ながらレンズをそっと黒眼にのせます。
 - ・このとき黒眼にレンズを強く押しつけないでください。眼をキズつける場合があります。
- 4) レンズが黒眼に正しくのっていることを確認し、指をゆっくりはなします。
 - ・左右の眼を交互に手でかくして、片眼ずつ遠くや近くがよく見えるかで、左右のレンズを入れ違えていないかを確認してください。

<レンズのはずし方>

- 1) 鏡を見てレンズが黒眼にのっていることを確認し、黒眼が上方に向くように鏡を見上げます。
- 2) きき手の中指で下まぶたを引き下げます。
- 3) きき手の親指と人差し指を使って、レンズの下端を軽くつまんではずします。
 - ・レンズをつまむときは眼やレンズに絶対に爪を立てないでください。眼をキズつけたりレンズが破損する場合があります。
 - ・レンズを無理にはずさないでください。眼をキズつけたりレンズが破損する場合があります。
 - ・装着中にレンズが乾燥するとはずしにくくなります。この場合は数回強くまばたきをして涙を多く出すか、人工涙液を点眼し、レンズに水分を含ませてからはずしてください。

<装着スケジュール>

【終日装用の場合】

装着可能な時間には個人差があります。個々のスケジュールについては眼科医の指示に従ってください。

■はじめて装着する場合

以下の例を参考に、装着する時間を徐々にのばし、少しずつレンズに慣れてください。

装着開始から	装着時間						終日
	2	4	6	8	10	12	14
1日目							
2日目							
3日目							
4日目							
5日目							
6日目							

* ■装着を中断後、再開する場合

装着を中断した後に、再び装着を開始する場合の装着スケジュールの目安は以下のとおりです。

装着中断期間	1日の装着時間の例
1～3日中断	指示された装着時間から2時間減らす
4～6日中断	指示された装着時間から4時間減らす
1週間以上	装着スケジュールの初日から開始する
1カ月未満	
1カ月以上	検査を受け、指示に従って装着を開始する

【連続装用の場合】

- ・連続装着可能な時間、期間には個人差があります。
- ・眼科医から指示された連続装用日数（最長1週間）を超えて装着しないでください。
- ・連続装用最終日には必ずレンズをはずして洗浄消毒し、レンズを装着しないで就寝してください。

■はじめて装着する場合

前記終日装着スケジュールを参考に徐々に装着時間をのばし、1週間以上の終日装用を行った後、眼科医の診察を受け、連続装用に移ってください。

* ■装着を中断後、再開する場合

装着を中断した後に、再び装着を開始する場合の装着スケジュールの目安は以下のとおりです。

装着中断期間	装着再開日からの装着時間
1週間未満	2～3日終日装用した後、連続装用に移る
1週間以上	終日装用の装着スケジュールの初日から開始し、1週間装用した後、連続装用に移り、翌日、眼科医の検査を受ける
1カ月未満	
1カ月以上	検査を受け、指示に従って装着を開始する

装着開始後、少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること

<定期検査>

眼やレンズに少しでも異常を感じた場合は直ちにレンズをはずし、予定された定期検査の時期でなくても眼科医の診察を受けてください。

【終日装用の場合】

レンズ装着開始日から1週間後、1カ月後、3カ月後、以降3カ月毎または眼科医の指示に従って定期検査を必ず受けてください。

【連続装用の場合】

連続装用開始日、連続装用を開始日の翌日、1週間後、2週間後、1カ月後、以降1カ月毎または眼科医の指示に従って定期検査を必ず受けてください。

【使用上の注意】

<眼の安全を守るための注意>

- ・自分用のレンズ以外は使用しないでください。
- ・洗浄液などのケア用品は絶対に点眼・内服しないでください。
- ・装着中は眼をこすらないでください。

<連続装用の注意>

- ・連続装用は必ず眼科医の指示で始めてください。
- ・連続装用は終日装用にくらべて眼に対する負担が大きいため、ご使用にあたっては特に注意が必要です。毎日鏡でチェックすることを習慣づけ異常が見られた場合は無理な装着を避け、ご自分で判断せず、すみやかに眼科医の診察を受けてください。
- ・連続装用をした場合、朝起きてからしばらくの間はレンズが眼にはりつくような感じ、異物感、くもった感じがする場合があります。強くまばたきをするか、人工涙液を点眼するなどして様子を見てください。また、このようなときはレンズがはずれにくい場合があるので無理にはずさないでください。

<レンズを破損・キズ・汚れなどから守るための注意>

- ・レンズを取扱うときは、爪を短くなめらかにし、手指をセッケンできれいに洗ってください。
- ・レンズをこするときは、レンズを手の上にのせ、もう一方の手で指で一定方向にこすってください。
- ・レンズをプリスターバックやレンズケースから取出すときは、レンズを破損させないよう注意してください。
- * ・レンズを装着し、はずした後はレンズを必ず洗浄消毒してください。
- ・レンズを乾燥させないでください。
- ・レンズをレンズケースに収納するときは、キャップによるはさみこみに注意してください。
- ・装着中は眼科医から指示された点眼薬以外は使用しないでください。
- ・化粧品や薬品などをレンズに付着させないでください。

<その他の注意>

- ・レンズに慣れるまでは、車の運転や機械操作などは行わないでください。
- ・車の運転や機械操作中に、レンズがズレたり、はずれたり、あるいは急に見えにくくなったときは、周囲の安全を確認した後、運転（操作）を中止してください。
- ・レンズの加工・改造は絶対に行わないでください。
- ・レンズケースは定期的に買い替えてください。
- ・水泳のときはレンズをはずしてください。

- * ・使用期限の過ぎたレンズは使用しないでください。（使用期限はアルミシールおよび外箱にEXPで表示されています）
- ・万 one の場合に備えて、スペアレンズを携帯してください。
- * ・渡航先での紛失に備え、スペアレンズや眼鏡等を持参し、長期間の渡航の場合は、現地の医療機関で処方および定期検査を受けてください。
- * ・装着中止時または緊急時に備えて、眼鏡を携帯してください。

<小児、高齢者、妊産婦の使用、その他の注意>

- ・小児が使用する場合は、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- * ・高齢者の使用で、自身の装着脱・レンズケアが困難な場合は、眼科医にご相談のうえ、その指示に従ってください。
- * ・「レンズ装着に適していない例」に該当しなくても、病氣、妊娠・出産、薬剤の服用や点眼等による体調や眼の状態あるいは生活環境によってはコンタクトレンズの装着に影響を及ぼす場合がありますので、十分眼科医にご相談の上、レンズを使用してください。また、装着開始後に、コンタクトレンズの装着状態が変化する場合があります。詳しくは、眼科医にご相談ください。

<装着にともなう症状と対策>

* 【慣れるまで】

- ・レンズに慣れるまでは、下記のような症状が見られることがあります。個人差はありますが、慣れるに従って解消されます。しかし、このような症状が長く続いたり、症状が強い場合は、無理せず、はやめに眼科医の診察を受けてください。
 - ・軽い異物感（コロコロした感じ）
 - ・軽い充血
 - ・視力不安定
 - ・眼のかゆみ

【慣れたから】

- ・レンズに慣れてからも、例えば次のような症状が見られることがあります。このような症状がそれそれの対処の方法で改善されない場合や、その他の症状が見られた場合には、無理な装着を避け、ご自分で判断せず、すみやかに眼科医の診察を受けてください。

症状	考えられる原因	対処の方法
装着直後の異物感、痛み	レンズに汚れ、異物の付着、キズや破損がある	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
	眼に疾患がある	すみやかに眼科医の診察を受ける
装着直後にしみる、涙が多くでる、くもる	レンズに洗浄液の成分が残っている（すすぎ不足）	レンズのすすぎを十分に行う
	レンズに汚れが付着している	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
装着中の異物感、痛み	ゴミやまつげ等が眼に入った	レンズのすすぎを十分に行う
	レンズに汚れの付着、キズや破損がある	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
かゆみ	レンズに汚れが付着している	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
	眼に疾患がある	すみやかに眼科医の診察を受ける
視力不安定、見えにくい	レンズの左右、表裏の入れ違い	レンズの左右、表裏を確認する
	充血	すみやかに眼科医の診察を受ける
充血	レンズに汚れの付着、キズや破損がある	すみやかに眼科医の診察を受ける
	装着時間が長すぎる	装着時間を短縮する
くもり	眼に疾患がある	すみやかに眼科医の診察を受ける
	レンズに汚れの付着、キズや破損がある	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
乾燥感	レンズの表面の乾燥（乾燥した環境での装着、涙が少ない）	回数まばたきをして涙を多く出す 乾燥への対応は眼科医の指示にしたがう（人工涙液などの使用）
眼の疲れ	レンズの表面の乾燥（乾燥した環境での装着、涙が少ない）	回数まばたきをして涙を多く出す 乾燥への対応は眼科医の指示にしたがう（人工涙液などの使用）
	装着時間が長すぎる（寝不足、心身の不調などにもよる）	装着時間を短縮する
レンズがズレやすい	レンズの左右の入れ違い	レンズの左右を確認する
	レンズの表裏の入れ違い	レンズの表裏を確認する
眼ヤニが多くでる	レンズに汚れの付着、キズや破損がある	レンズの洗浄・すすぎを十分に行う レンズに異常がないか確認する 新しいレンズと交換する
	すみやかに眼科医の診察を受ける	すみやかに眼科医の診察を受ける
レンズをはずしてからの痛み、充血	眼に疾患がある	すみやかに眼科医の診察を受ける
	眼に疾患がある	すみやかに眼科医の診察を受ける

【臨床成績】

* <終日装用>

平成9年6月より平成9年10月までに、国内の2施設にて、近視および近視性乱視の患者の72症例を対象として終日装用臨床試験を実施した結果、有用性について「極めて有用」45症例（62.5%）、「有用」27症例（37.5%）であった。

* <連続装用>

平成9年11月から平成11年1月までに、国内の2施設にて、近視および近視性乱視の患者の76症例を対象として連続装用臨床試験を実施した結果、有用性について「極めて有用」19症例（25.0%）、「有用」54症例（71.1%）、「有用性に疑問」3症例（3.9%）であった。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<保管方法>

直射日光を避け、室温で保管してください。

- * <使用期限>（EXPとは製品をプリスターラベルおよびパッケージ（外箱）に記載）使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
（例：EXP 2016/04=使用期限 2016年4月）

* <使用期間>

2週間交換

* 【保守・点検に係わる事項】

レンズを外した後は、必ず化学消毒か煮沸消毒のいずれかを行ってください。

【包装】

6枚入

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売元>

コーパビジョン・ジャパン株式会社
東京都渋谷区恵比寿2-36-13
TEL 03-5449-6511

* <製造元>

コーパビジョン カリビアン コーポレーション/プエルトリコ（米国）
CooperVision Caribbean Corp./Puerto Rico（U.S.A.）

<症状に関するお問い合わせ>

レンズの装着にともなう眼の症状などについては、処方された眼科・クリニックにご相談ください。

<製品に関するお問い合わせ・ご相談>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万 one に破損やその他の不具合があった場合は、決して使用せずに、下記フリーコールまでご相談ください。

☎0120-132-410
【月～金】9:00～17:00（祝日は休み）
www.coopervision.jp